



図書館から こんな本を

Vol.202
2019/9/30
甲南女子中高・図書館

暑さも和らいで、読書の秋です。
秋の夜長にゆったりと本を楽しみましょう。



『世界の本好きたちが教えてくれた
人生を変えた本と本屋さん』
ジェーン・マウント 著、清水 玲奈 訳 020.4/M



ハワイ・マウイ島在住のイラストレーターが書いた本をロンドン在住の方が翻訳したイラスト集です。どのページも心が躍るような素敵なイラストばかりです。作家の書斎や、表紙デザイン、本屋の看板猫など、本に関わるいろいろが載っています。

『これからを生きる君へ』

天野 篤 著 289.1/A



心臓を動かしたまま行う手術「オフポンプ手術」の第一人者。平成天皇の執刀医である心臓外科医は、3浪して医学部に入学。さまざまな挫折を乗り越えてきた著者は、どうやって逆境に立ち向かっていったのか。また、将来の夢を叶える方法が熱く語られている。

『世界なんでもランキング図鑑』 290/R
『日本なんでもランキング図鑑』 291/R
池野 範男、久保 哲朗 監修



日本と世界のさまざまな事柄を色々な切り口でランキングしている。カラー写真をふんだんに使って立体的に説明されている。水がきれいな川ランキング、使われていないお金の量ランキング、ランドセルの色、漫画、絶滅危惧種、世界遺産、博物館…。

『北欧式お金と経済がわかる本
12歳から考えたい9つのこと』
ゲンヒル・J.エクルンド著 枇谷玲子訳 330/E



経済の専門家が12歳以上の子どもたちに知っておいてほしいお金や経済の仕組みをやさしく解説した本。ノルウェーと日本を対比しながら知ることができる。大事なお金のこと、今からちょっと知っておくと将来必ず役に立つ。

『文系でもよくわかる
世界の仕組みを物理学で知る』
松原 隆彦 著 420/M



物理学が金融の世界を制している、輪廻転生は物理学では正しいなど、一見正反対なものが世界の仕組みでは繋がっているという、とても興味深い内容だ。文系の人にも分かりやすく書かれている。

『キリンの運びかた、教えます』

岩貞 るみこ文、たら子絵 680/I



「運ぶ」をテーマにしたドキュメンタリー小説です。

東京へお嫁に行くことになった岩手のキリンのリンゴちゃん。866両の鉄道車両をイギリスまで運ぶ。治療を続けながらのこども病院のお引越し。想像するだけでも大変です。

『知識ゼロからの近代絵画入門』

山田 五郎 著 723.05/Y



西洋絵画が激変した19世紀から20世紀初頭にかけての近代化運動の歴史を山田五郎さん独自の視点で、初心者にも分かりやすく紹介。芸術の秋に、博物館、美術館に行く前に下調べしてから行くといいかも。

『ヤバいほど日本語知らないんだけど』

前田 安正 著 814/M



微妙に言い間違えてしまう、うっかり書き間違えてしまう言葉ってありますよね。正しく使わないと相手を誤解させる、きちんと知っておかないと恥をかく言葉。言葉は大事です。お早めに再確認を。



秋の夜長、読書の楽しみかたはいろいろ・・・



芸術を楽しむ秋



- 『世界でいちばん素敵なお西洋美術の教室』 702.3/S
『科学でアートを見てみたら』 ロイク・マンジャン 704/M
『もっと知りたい ラファエル前派』 荒川裕子 723.33/A
『配色アイデア手帖』 日本のお美しい色と言葉
心に響く和のデザインがくれる本』 桜井輝子 757.3/S

夜空に思いを馳せる秋



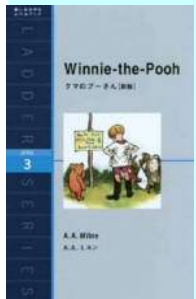
- 『月のかたち』『月のみちかけ』
『月の出と月の入り』（『月のひみつシリーズ』） 446.3/T/1～3
『ビッグ・クエスチョン』 <人類の難問>に答えよう』 スティーヴン・ホーキング 440.4/H
『宇宙はなぜ哲学の問題になるのか』 伊藤邦武 081.9/チ/332
『はじめてのギリシア神話』 松村一男 081.9/イ/331

自分を見つめる秋



- 『答えは本の中に隠れている』 岩波ジュニア新書編集部 081.9/イ/897
『生きていくあなたへ 105歳どうしても遺したかった言葉』 日野原重明 159/ヒ
『何のための「教養」か』 桑子敏雄 081.9/チ/329
『生きるための図書館 一人ひとりのために』 竹内恵(さと) 080/イ/1783
『いじめられている君へ いじめている君へ いじめを見ている君へ』 朝日新聞社 371.42/A
『樹木希林 120の遺言』 樹木希林 914.6/K

原語で読んでみる秋



- 『Winnie-the-Pooh』 (クマのプーさん) A.A. Milne 837.7/L/3-7
『MURDER ON THE ORIENT EXPRESS』 (オリエント急行殺人事件) Agatha Christie 933.7/ク
『And Then There Were None』 (そして誰もいなくなった) Agatha Christie 933.7/ク
『The Little Mermaid and Other Stories』 (人魚姫 アンデルセン童話集) Hans Christian Andersen 949.73/ア

読書の秋

～～ 文庫で読む ～～



- 『眠れないほど面白い 百人一首』 板野博行 911.147/イ
『スマホを落としただけなのに』 志駕 晃 913.6/シ
『一人っ子同盟』 重松 清 913.6/シ
『天久鷹央の推理カルテV』 神秘のセラピスト』 知念実希人 913.6/チ
『朝が来る』 辻村深月 913.6/ツ
『人魚の眠る家』 東野圭吾 913.6/ヒ
『豆の上で眠る』 湊かなえ 913.6/ミ
『おそろし』 宮部みゆき 913.6/ミ
『史上最強の内閣』 室積 光 913.6/ム
『野良犬トビーの愛すべき転生』 W.B. キャメロン 933.7/キ
『ドラコニアの夢』 澁澤龍彦 914.6/シ

～～ 単行本で読む ～～



- 『わたしが看護師だったころ』 クリスティー・ワトスン 498.14/W
『あなたの右手は蜂蜜の香り』 片岡翔 913.6/Kata
『百花』 川村元気 913.6/Kawa
『ハート型の雲』 高橋三千綱 913.6/Taka
『傑作はまだ』 瀬尾まいこ 913.6/Seo
『羊の告解』 いたうみく 913.8/I
『部長会議はじまります』 吉野万理子 913.8/Y
『おやつが好き』 坂木司 914.6/S
『子犬たちのあした ロンドン大空襲』 ミーガン・リクス 933.8/R
『ぼくたちは幽霊じゃない』 ファブリツィオ・ガッティ 973/G



猛暑も去り、ようやくしのぎやすい季節になってきました。空を見上げると、我が物顔に青空を占拠していた入道雲から、いわし雲に衣替えをしています。今年の「中秋の名月」は、いつもより少し早めの9月13日でしたが、皆さん見ましたか？ 「春は桜、秋といえば紅葉（もみじ）」など、日本には自然を身近に感じ、生活に取り入れて楽しむ風習があります。「茜空（あかねぞら）」「寒露（かんろ）」など、季節とともに育まれてきた日本特有の色名や言葉など、図書館の本で調べてみませんか。

